

～保護者・学校共に9割以上が来年度も同様のツールを利用したいと回答～

## デジタル連絡ツール「スクリレ」利用状況アンケートの実施結果について

- 京都市立小・中・小中・総合支援学校では、令和5年1月に締結した京都市と理想科学工業株式会社の連携協定に基づき、令和5年4月から全ての学校及び希望するPTAでデジタル連絡ツール「スクリレ」を導入しています。
- この度、連携協定に基づき、下記の通り学校・保護者に対する利用状況アンケートを実施し、約1万4千件の保護者からの回答をいただきました（なお、学校は全校必須回答）。その中で、保護者・学校共に9割以上が来年度以降も同様の連絡ツールを利用したいと回答するなど、多くの保護者・学校が連絡ツールの各機能に利便性を実感していることが分かる良好な結果が得られました。
- 今回のアンケート結果及び同時に実施した各校種PTA連絡協議会役員への意見聴取の結果を踏まえ、学校・PTAと保護者双方の更なる利便性の向上に向け、連絡ツールに求められる機能や在り方について検討を進めてまいります。

### 記

#### 1 アンケート調査の実施概要

	保護者アンケート	学校管理職アンケート
調査校種	小・中・小中・総合支援学校	
調査対象	約42,500世帯 小・中・小中の各学年の通常学級から 1クラスずつ抽出して回答を依頼。 総合支援学校は全クラス対象に依頼。	230校 全校、校長又は教頭が回答。
位置づけ	無記名、任意回答	記名、必須回答
実施時期	9月15日以降、 各校で順次配信・配布 ～9月27日回答締切	9月15日 ～9月27日回答締切

#### 2 回答状況

	保護者アンケート	学校管理職アンケート
回答数	14,092件 (回答率 約33%)	230校 (回答率 100%)

3 調査結果（概要） ※アンケート結果の詳細については別紙参照。

(1) 分析のまとめ

- ・ 91%の保護者が来年度以降もスクリレのようなアプリ等を活用した連絡ツールを利用したいと回答（利用したくないと回答した保護者は3%）。また、学校の81%がスクリレの利用が教職員の働き方改革につながったと回答し、99%が来年度もスクリレのような連絡ツールを利用したいと回答。保護者・学校の双方から高いニーズがあることが分かった。

【保護者アンケートQ7-1、学校アンケートQ7-1・2】

- ・ 中心的な機能として全校で利用している機能のうち、**「お便り配信機能」**については94%の保護者と80%の学校、**「欠席等連絡機能」**については97%の保護者と93%の学校がそれぞれ利便性・負担軽減の効果を感じており、導入目的である教職員・保護者双方の利便性向上と負担軽減に有効な手立てになっていることが分かった。

【保護者アンケート・学校アンケートともQ3、4】

- ・ **「健康観察機能」**は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行した5月8日以降は全校利用ではなく各校判断で利用としているところ、利用校は全体の1割程度であったが、プール学習等の際の参加確認や学級閉鎖時の健康状態の確認など場面に合わせた効果的な利用を行っており、他校でも当該機能を有効活用する余地があると考えられる結果となった。

【保護者アンケート・学校アンケートともQ5】

- ・ 付加的な機能として全校で利用している**「スクリレポイント機能（※）」**については、約8割の保護者が学校応援の仕組みを認知していた。また約5割の保護者が実際に広告を閲覧。さらに回答者全体の約6割の保護者がポイントの仕組みを「活用したい」と回答。全校導入から半年が経過した令和5年9月末時点で全市合計約270万ポイント（270万円相当）の獲得につながっている現状も踏まえれば、今後も児童生徒の学習環境の充実に一定の効果が期待できることがわかった。【保護者アンケート・学校アンケートともQ6】

(※) 保護者がスクリレ上に表示される広告を任意で閲覧すると、閲覧数に応じて学校にポイントが貯まり、学校は貯まったポイント（1タップ5ポイント相当）を子どもの教育環境に資する物品に交換できる

- ・ 上記のように現在利用している機能について概ね好評であったが、更なる充実・改善点を問う自由記述欄に対しても学校・保護者の双方から多くの意見が届き、スクリレの細かな操作性・利便性の向上に関することや、個別連絡機能をはじめ利便性向上のための更なる機能充実を望む声などがあつた。【保護者アンケートQ7-2・学校アンケートQ7-3】

(2) 設問ごとの主な結果

項目	設問ごとの内容分析
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全世帯のうち、96%の保護者（世帯）がスクリレを利用</li> <li>・ 今回の回答者のうちスクリレ登録者は99%で、実際の登録状況と比較して回答者に占める登録者の割合が多かった。（未登録者からの回答総数は124件）</li> </ul> <p style="text-align: right;">（保護者・学校アンケートQ2）</p>
機能別	<p>&lt;お便り配信機能&gt;※全校利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 94%の保護者がお便り配信機能を「便利」と回答。</li> <li>・ 80%の学校管理職が「教職員の負担軽減につながっている」と回答。</li> <li>・ 83%の学校でスクリレ導入によって紙配布文書の削減につながっていた。</li> </ul> <p style="text-align: right;">（学校・保護者アンケートQ3）</p>

	<p>&lt;欠席等連絡機能&gt;※全校利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用機会のなかった保護者を除いて、92%の保護者が欠席等連絡機能を利用。</li> <li>・欠席等連絡機能を利用した保護者の97%が当該機能を「便利」と回答。</li> <li>・学校管理職の93%が教職員の「負担軽減につながっている」と回答。</li> </ul> <p>(学校・保護者アンケートQ4)</p>
	<p>&lt;健康観察機能&gt;※5月8日以降、学校判断で利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月8日以降、健康観察機能を利用している学校は全体の11%。プール学習や学校行事の参加確認、学級閉鎖時の健康状態の確認等のために活用。</li> <li>・学校の利用状況に対応して保護者の利用率も1割程度。その中で、健康観察機能を利用している保護者の87%が当該機能を「便利」と回答。</li> <li>・当該機能を利用している学校の学校管理職の76%が教職員の「負担軽減につながっている」と回答。</li> </ul> <p>(学校・保護者アンケートQ5)</p>
	<p>&lt;スクリレポイント機能&gt;※全校利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・78%の保護者が学校応援のための仕組みであることを認知し、47%の保護者がこれまでに何らかの広告を閲覧。</li> <li>・62%の保護者と89%の学校がスクリレポイントの学校応援の仕組みを「活用したい」と回答。</li> </ul> <p>(学校・保護者アンケートQ6)</p>
全 体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・82%の学校が「教職員の働き方改革につながった」と回答。</li> <li>・91%の保護者及び99%の学校が、来年度以降もスクリレのような保護者連絡ツールを「利用したい」と回答。</li> </ul> <p>(学校アンケートQ7-1・2、保護者アンケートQ7-1)</p>
(自由記述)	<p>&lt;今後更に充実してほしい機能や改善点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から2679件、学校管理職から127件と多くの意見が寄せられた。</li> </ul> <p><b>【保護者から多く寄せられた主な意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○お便り配信機能で配信する文書の種類に関すること …もっとスクリレで配信してほしい、献立表や時間割表は紙でほしい 等</li> <li>○配信されたお便りの見やすさに関すること …文字や添付ファイルの大きさ・拡大率の改善※ 等 ※添付ファイルの拡大率について改善済。</li> <li>○欠席等連絡機能の利用に係る利便性・操作性の向上に関すること …欠席理由欄の文字数制限の拡充※、学校が欠席連絡を見たのか知りたい 等 ※欠席理由欄の文字数制限について50字→200字に改善済。</li> <li>○個別連絡機能や連絡帳に替わる機能に関すること …子の様子を気軽に担任に連絡したい、連絡帳をデジタル化してほしい 等</li> </ul> <p><b>【学校から特に寄せられた主な意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個別連絡機能に関すること（個別の保護者に連絡を送れる機能がほしい 等） ※ただし、保護者からの自由な個別連絡が可能になると教職員の負担増につながる可能性があるため、学校からのみ配信できる機能や、学校からの配信に対して1回のみ返信できる機能を求める声もあった。</li> <li>※なお、スクリレには個別連絡に係るオプション機能があるが、京都市では現在利用していない。</li> </ul> <p>(学校アンケートQ7-3、保護者アンケートQ7-2)</p>

#### 4 各校種PTA連絡協議会への意見聴取について

(※PTAは希望利用制であり、調査時点でのアカウント開設率は約7割)

- ・ 上記アンケートと並行して、各校種（幼・高含む）のPTA連絡協議会役員を中心に、PTA間の連絡ツールとしてのスクリレの利用に関してPTAの立場からの意見照会を実施。
- ・ 各校の実情に合わせ、PTA単独でのアカウント運用と、学校アカウントの利用（お便りの配信等は学校に依頼）の両方の方式がある中、主にPTA総会資料や行事連絡の送付の際に利便性を感じている意見が多かった。
- ・ 一方で、PTA単独でアカウントを運用する際、学校アカウントとは別に保護者への登録依頼を行うことに負担を感じている意見が一定あった。（なお、保護者アンケートの中でも、PTA役員と思われる方から同様の意見が一定あった。）

#### 【参考1】これまでの経過

令和4年 6月	京都市PTA連絡協議会内に「新たなPTA連絡ツール導入検討委員会」設置
令和4年 8月	京都市立学校で複数のアプリを試行導入 (スクリレ試行導入校5校、他アプリ試行導入校5校)
令和4年12月	京都市PTA連絡協議会内で、スクリレ導入方針を確認
令和5年 1月	理想科学工業株式会社と連携協定を締結
令和5年 4月	全校利用開始（お便り配信機能、欠席等連絡機能、健康観察機能、スクリレポイント機能）
令和5年 5月	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の5類移行を機に、健康観察機能を全校必須利用から学校判断での利用に変更
令和5年 9月	教育委員会から保護者へお知らせを一斉配信する「ユニット配信機能」の利用を開始

#### 【参考2】京都市と理想科学工業株式会社による連携協定の概要

##### (1) 連携協定の名称

デジタル連絡ツール活用についての実証事業に係る京都市と理想科学工業株式会社との連携協定

##### (2) 連携協定の期間

令和5年2月1日～令和6年3月31日

##### (3) 協定に基づく連携事項（主なもの）

###### 【理想科学工業→京都市】

- ①一部有料オプションを含むスクリレ機能全般の京都市立学校への無償提供  
(令和5年度末まで)
- ②スクリレの活用に必要な研修の実施
- ③スクリレ活用による効果の検証結果の京都市への提供

###### 【京都市→理想科学工業】

- ④スクリレ活用による効果検証への協力（アンケート実施等）